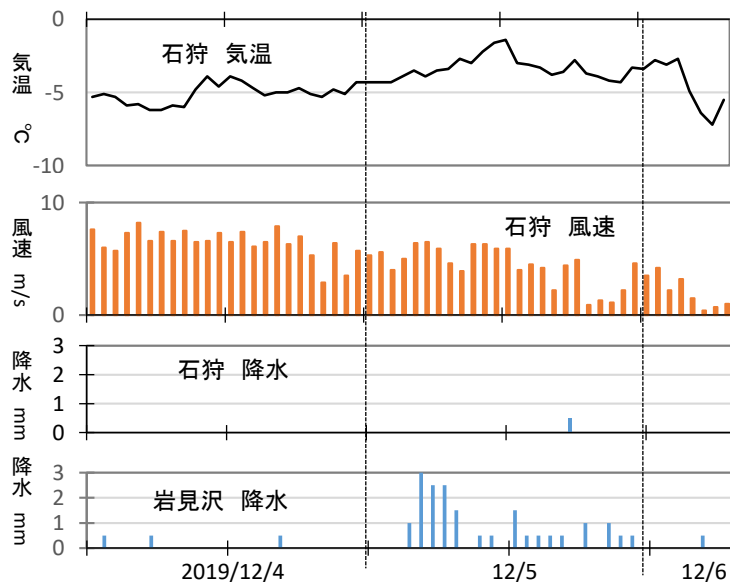


衛星写真と雪雲の重ね合わせ (日本気象協会)。石狩はわずかに雪雲から外れているが岩見沢はど真ん中。



12月4日、5日は強い冬型、各地で風雪による事故等が多発、臨時休校もあった。札幌、石狩とも予報では、4日、5日も降雪の予報。しかし、4日にわずかに降雪を記録したが、5日は降雪ゼロ。従来から言われているが、西風の際は札幌圏は積丹半島の山並みの陰になり、雪雲は進入しない(図参照)。4日の屯田で観測した降雪粒子は「ほとんどが小さな雲粒の集合」であった。日本海から西風による筋状の雲(対流性)がこの雪を降らせた。この2日間、アメダス石狩では5mmの降水、アメダス岩見沢では19.5mmの降水があり、積雪深は2cmから36cmに増加した。